



OBと現役がいっしょになって演奏したフィナーレ

演奏会で節目を祝う

総社東中学校吹奏楽部

総社東中学校吹奏楽部の創立50周年を祝う記念演奏会が昨年12月30日、市民会館で開かれました。

卒業生と現役部員ら約160人が演奏に参加。50周年を記念して作られた「きらめく未来へ」をはじめ、同部の初演曲「ラ・クンパルシータ」、卒業生で神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ホルン奏者の森雅彦さんとの「スターダスト」など14曲を演奏。さらなる飛躍を期して、観衆や出演者は演奏を楽しみました。

ミニフォト

大人への決意を新たに



新成人を祝福した式

新成人の有志による実行委員が企画・進行了成人記念式が1月9日、市民会館で開かれました。式には新成人約570人が出席。新成人代表による二十歳の決意や恩師からのビデオレターなどから、大人への決意を新たにしていました。

赤米の収穫に感謝



かけりもちで階段を駆け下りる

赤米の収穫に感謝し祝う霜月祭が昨年12月20日、新本の本庄と新庄の両国司神社で行われました。参拝者には赤米の甘酒などが振る舞われました。新庄国司神社では、祭りの当番を決める伝統神事「かけりもち」が行われました。

こども農園でもちつき



みんなでベッタンベッタン

農業公社きびの里では、農業体験イベント「こども農園」を今年度5回開催。5回目が昨年12月19日、西郡地内の畑と山手公民館で行われ、参加した約80人の親子連れはじゃがいもの収穫ともちつき体験を楽しみました。

100歳 おめでとうございます



祝福を受ける若林さん

若林朋恵さん（清音三因）が1月10日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。今でも身の回りのことは自分でする若林さん。長寿の秘訣は「気を張って、がんばってきたこと」と教えてくれました。

もちつきやダンスで交流



もちつきを楽しむ参加者

年忘れ国際ふれあい感謝祭が昨年12月26日、きよね夢てらすで開かれました。ブラジルやペルー人などの外国人住民、市コミュニティ協議会員など約300人が参加。もちつきやダンス、ブラジル料理などで交流を深めていました。

鬼ノ城の整備を視察



西門付近を視察する委員

10年計画で平成13年から整備をしている鬼ノ城で昨年12月21日、整備方針を指導・検討する鬼城山整備委員会の委員7人が現地を視察。西門横の城堡（幅約3m）を、土を突き固める版築によって整備することを確認しました。

ネズミと五重塔、まちを走る

「ご当地ナンバープレート」の交付開始

1月4日、50 cc、90 cc、125 ccのバイク（ミニカーは除く）へ岡山県下初で導入を決定した「ご当地ナンバープレート」の交付がスタート。2種類のデザインからの選択式で、備中国分寺の五重塔か、雪舟の逸話にちなんだネズミのナンバープレートをつけたバイクが走り始めました。

交付されるのは、今月からこの2種類のみ。岡山県立大学との共同研究でデザインしたものです。また、昨年の秋に募集した希望番号と希望デザインへの交換を申し込んでいた人への交付もこの日から始まりました。



まち歩きから観光へ

全国まち歩き観光サミット

全国まち歩き観光サミット（NPO法人吉備野工房ちみち主催）が昨年12月18日、サンロード吉備路で開かれ、まち歩きを通じた観光振興やまちづくりについて参加者は考えました。

観光やまちおこしに携わる日本各地の関係者ら約200人が参加しました。田上富久長崎市長が、同市職員時代に手掛けたまち歩き観光「長崎さるく」を基調講演で紹介。「まちを歩けば、もっとまちが好きになる」をテーマに行われたシンポジウムでは、「自分の住むまちを愛する思いがあれば、どこでも、すぐ始められる『まち歩き観光』を全国に広めていこう」と意見がまとまりました。



1月4日、税務課の窓口で行われた「ご当地ナンバープレート」の交付



今年も楽しめます

備中国分寺五重塔ライトアップ

吉備路のシンボルである備中国分寺五重塔のライトアップが1月12日から始まり、夜空に浮かぶ神秘的な景色が、観光客や付近を通る人の目を楽しませています。

「備中国分寺五重塔ライトアップ～古代浪漫 吉備の灯り～」と銘打ち、3月31日までの毎夜午後6時から10時まで点灯。この期間の点灯は、昨年に続き2回目。



サミットの一つとして行われたシンポジウムの様子。参加者もカードを使って思いを示した